

○一年間の動向

令和7年の観光客入込数は、5,765,176人で前年比102.6%(145,907人増)、宿泊者数は2,057,202人で103.3%(65,908人増)、外国人宿泊者数は、13,593人で前年比93.5%(941人減)であった。前年に過去最高水準となった令和6年の流れを引き継ぎ、年間を通して安定した推移となった。宿泊数についても前年水準を維持しており、回復局面から安定的な推移へ移行している状況が伺える。

○1月～3月 前年同期比 95.7%

町内スキー場の閉業という観光条件の変化があったものの、前年同期と比較して概ね横ばいで推移した。当該期間の気温は前年と比較すると低く、降雪量も多く、冬季特有の気象条件が見られた中でも、温泉利用や屋外レジャーを目的とした観光利用が継続したことが伺える。

○4月～6月 前年同期比 101%

当該期間に含まれるゴールデンウィークは、平日3日を挟む飛び石連休となり、ゴールデンウィーク期間単体でみると入込客数は前年を下回る結果であった。

また、5月中旬の道の駅那須高原友愛の森なすとらんリニューアルオープン以降、当該施設及び周辺施設の入込数が増加しており、期間全体では前年同期を上回る結果となった。

○7月～9月 前年同期比 106%

夏季の入込数は、高水準で推移した。今年の夏休み期間は、前年と比較すると雨が少なく晴れの日が多かったため、屋外施設の入込が伸びていた。

○10月～12月 前年同期比 103.3%

秋季期間としてみる入込数は前年並みであったが、紅葉の最盛期と連休期間の好天が重なり、那須ロープウェイをはじめとするレジャー施設において入込数の増加が見られた。

○外国人宿泊者 前年同期比 93%

外国人宿泊者数は、全国的に訪日外国人旅行者数が回復基調にある中、本町では前年同期比93%と減少した。

地域別割合で見ると、台湾を始めアジア・中東圏からの宿泊者数が大半を占めている。

※年間の宿泊者数2,057,202人は、平成12年以降では25年振りの200万人台となった。